ビジョトレ19

ジリリリリ。目覚まし時計が鳴りひびく。それでも私は目を開けぬ。
ひとみの中にはまぶしいほどの光がおしこんでくるのに、私は目を開けぬ。
ここから私と、眠気との戦いが始まるのだ。
ドスンドスンドスン、かいじゅうと化した母の足音が私のこまくにつきささる。
「いいかげん起きなさい！」
それでも私は目を開けぬ。根性で開けぬのだ。
しびれをきらした母はふとんをバサッととりあげる。それでも私は目を開けぬ。
「もう知らないから！」
母はあきらめて、台所へと帰って行く。
やった！今日は私が勝ったのだ。私は再びねむりにつこうとした。
台所からは、ソーセージの焼ける、いいにおいがしてきた。私の鼻が開く。
台所からは、トーストのこんがりと焼けるいいにおいがしてきた。
私はすばやく目を開き、台所へとかけていった。

氏名

問題一　目覚まし時計が鳴っても、私は、

問題二　「いいかげん起きなさい」と言った母はわたしから

を取り上げた。

問題三　私は何に起こされたでしょうか。

※終わったら主語述語